



メチャクチャ大きな台風が、立て続けに二度もやって来た今年の秋はずっと緊張が・・・ Oct.-1/2014

4月から5月にかけて、名古屋で四人展、東京上野日仏展、国立新美術館での国展、そして静岡・藤枝での個展と、目まぐるしく展覧会が続き、おまけに国展では会場でのトークインの順番が回ってきたため、緊張はピークに達し、とうとう行きつけの地元のお医者さんに「もう、うちで処置できることはありません!!」と、一年も改善の見られない僕の胃潰瘍にサジを投げられてしまった春でした・・・。

☆ 今年の8月、僕の人生60と4年を過ぎ、悲願だった富士登山初登頂に成功した。普段、牧之原台地の向こうや新幹線の窓越しでしか観る機会のない富士山を、いつしか「登りたい!!」と思うようになり、事あるごとに知人・友人に吐露していた。そんな今年の春、知り合いのH先生から「学校の夏休み後半に富士登山の計画があるので、一緒にどうですか?」と、思いがけぬお誘いを戴いた。もう「是非、是非」と二つ返事の僕。「いよいよ実現か〜!!!」わくわくしながら期待に胸を膨らませた。が、内心は「本当に自分が登れるのだろうか? なんつったって相手は日本の最高峰。決して侮ってはいけない・・・。」そんな僕の心を見抜いたのか、H先生はこう続けた。「九合目で一泊するので、朝からの出発になり、のんびり登るから初心者でも大丈夫ですよ。問題は、お天気だけですわね〜。」と。そして決行日は、ついに8月の21・22日と決まった!!

スタート地点の新五合目は、既に標高2400メートル。空は真っ青で、雲一つない。小学生三人を含む七人のパーティは、ゆっくりと時間をかけて高地の空気に身体を慣らし、準備万端で「いざっ、出発!!」クループ最年長の僕は、気合を込めて友人の貸してくれた新品のストックで、その第一歩を踏み込んだ。

ほんの一か月半ほど前、御嶽山が噴火し、数十人の犠牲者が出てしまうという戦後最悪の痛ましい山岳事故が発生してしまった。かつて冒険家の植村直巳は、雪のマッキンリーで独り帰りぬ人となった。人はなぜ、「一歩間違えれば死に直面」という危険を顧みず、山に登ろうとするのだろうか? そういう意味では富士山も当然ながら「安全な山」では決してない。それでも何万人という沢山の人々が、列をなして頂上を目指す。一体何がそんなに人の心を動かすのだろうか・・・?

最年長でとても心配だった僕も、八合目までなんとTシャツ一枚で登り、何度も踏破しているH先生ご夫妻でさえ、こんなに素晴らしいお天気の富士山には、これまでお目にかかったこともないと、感嘆されるほど抜群の晴天に支えられ、ご来光、剣ヶ峰はもちろんの事お鉢巡りもこなし、意気揚々・・・。

「富士山は、縦走して景色を楽しむ山じゃなく、この瓦礫の中で自分を鍛えるトレーニングの山なんだよね。」と、H先生のご主人がポツリと言。「そうかあ、僕はまだトレーニングの最中なんだ・・・。」案の定、下山し始めた「砂走り」は、永遠に続くかと思う程恐ろしく長く、腰から下はガタガタ、ポロポロ。西日が射しはじめた宝永山に到達したころには、半歩の気力を振り絞るのに精いっぱい。この先の人生、下り坂でも決して甘くないゾと、両足親指つま先の内出血が、見事に物語ってくれていた。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| ① 12月1日～12月6日 | ・国展版画部作家展 東京・銀座 地球堂ギャラリー |
| ② 12月13日～12月21日 | ・ART IN BOX 展 愛知・名古屋 大黒屋画廊 |
| ③ 12月13日～12月21日 | ・年末チャリティー展 静岡・藤枝 ギャラリー未来 |
| ④ 1月12日～1月25日(2015年) | ・新春版画展 静岡・掛川 これっしか処 |
| ⑤ 2015年4月中旬～(予定) | ・個展 静岡・静岡 静岡信用金庫本店ギャラリー |

あとりえ

・毎年、大須賀「ちっちゃな文化展」が終わると、一気に深まる秋と寂寥感が身に浸みて、一年の終わりが近づいているのを否応なく感じてしまいます。「おもしろうてやがて哀しき祭りかな」

□ 遊刊Zumブログ版 <http://izumift2563.hamazo.tv/> 「藤田泉・版画」でも検索できます。

□ ご意見・問合せ 〒439-0005 静岡県菊川市潮海寺121-8 藤田泉方「Zum編集室」まで。

TEL/FAX 0537-35-3758 Eメール muz6305@gol.comです。